

市報

とお紡まち

編集発行 / 十日町市役所(電話07-3111) 毎月10日 / 昭和32年6月5日第313号(郵便物認可) (1006円)



374点の力作を展示

産地恒例の「十日町織物総合求評会」は、去る5月26日、織物会館で開催されました。

会場いっぱいに飾られた力作は全部で374点。取引商社150店を審査員に技術、地風、色柄、市場性等厳しい審査が行われました。

出品作品はいずれも、きものまちを代表する優秀商品ばかりで、十日町織物の販売促進効果が期待されます。

6/10
June

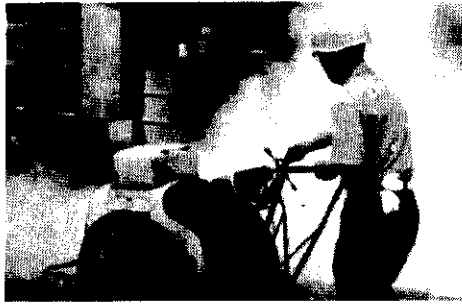
□236号□

きれいなまちづくりを

例年、梅雨期や集中豪雨時には、側溝の水があふれて困るという連絡が市役所に寄せられます。

駆けつけてみると、「ごみがつまっていたため」という例があります。

最近のごみは、腐らないものが多く、発ほうスチロールやビニール袋などが、ちょうどせきのようになって流れを止めてしまふからです。いったいだれが、どのような気持で捨てるのでしよう。こんな疑問が市民からも寄せられました。今月は、きれいなまちづくりについて、みんなで考えてみましょう。



カ、ハ工の操演を……
今日も市環境課職員による環境
消毒が行われている(青野町)

下水管理設工事に着手

中では、快適な生活環境づくりをめざして公共下水道の建設を進めていますが、現在下川原町地内の終末処理場進入道路に幹線となる下水管を埋設する工事をはじめています。

下水道の建設は、多額の費用と年月が必要なため、市の財政事情、地形等を十分考えながら計画

川にごみを捨てないで

最近、川や山間地の崖下などにゴミが捨てられたり、側溝、排水路等にドロやゴミがつまり、水の流れを悪くしているところが見受けられます。特に、道路沿いにある田畑の持主の方は、自動車等から投げ捨てられた空き缶、空ビンの処理に困っています。ごみは、所定の場所以外捨てないでください。

河川をきれいに

計画では、第一期事業として十日町駅を中心とした約百四十八鈴の市街地で、川治川から田川の間で、飯止線から東側の山沿いを総事業費約八十六億円で昭和五十六年までに行う予定です。

工事にあたっては、極力周辺農地への通行に支障をきたさないよう進めていますので、みなさんの協力をお願いします。

河川の水質汚濁は、企業の処理施設の完備等で年々減少傾向にありますが、まだ処理施設を有しない工場等は、廃水処理に十分注意を払い河川の浄化に努めてください。

油水分離槽の設置を

家庭排水も河川の汚濁原因のひとつになっていきます。家庭排水にも沈澱槽を設けるなど維持管理をお願いします。また、市内で油流出事故がひんぱんに起きています。油が流出しますと、水稲や魚類に害を与える恐れがあります。油類を使用するときは、防油堤や油水分離槽を設けて未然防止につとめてください。万一事故が起きたときは、消防署に連絡するとともに吸着材等で被害を最少限度にいくとめるようつとめてください。

ごみは決められた日に決められた場所を決められた場所に出しましょう

家庭のごみは、収集しやすいように水切りをよくし、適当な量を袋に入れるか、きちんと束ね、もえるごみともえないごみに分けて指定した日の朝、ごみステーションに出してください。事業所、商店等から出される多量のごみは各自で焼却場(燃えるごみ)か埋立地(燃えないごみ)へ運んでください。



八箇トンネル付近のガケ下に不法投棄されたごみの山……

犬糞の処理を

犬の糞便が道路や公園に残されているのが目につきます。これらは引き運動をした人が必ず処分するようご協力をお願いします。

尿浄化槽の放流水が悪臭を放つ原因を

尿浄化槽の放流水が悪臭を放つ原因は、悪臭はつきり原因で起こります。尿浄化槽の清掃管理をお願いします。

□水が不足すると大切な浄化菌が死んで浄化できなくなり悪臭や汚れの原因となります。水は十分に有効に使いましう。

□便器の掃除に塩酸を使ったリ、パッキ式の浄化槽は空気を送るモーターの電源を切ったりすると浄化菌が死んでしまます。浄化槽の清掃及び管理は、尿浄化槽清掃業者(するがや清掃社、津南清掃社、下条清掃社)と委託契約を結び定期的に点検してもらうとともに、消毒薬の補給と清掃をしてもらってください。また、設置者も常時放流水を監視し、異常を発見したときは、ただちに清掃業者に連絡してください。

市役所に防災無線を設置



県は、風水害、地震、火災、豪雪などの災害時に活用するため、全県下の市町村に防災無線の設置計画を進めていますが、このほど、当市に設置され、去る六月一日から開始いたしました。

今後は、県庁を基地に全市町村、国の防災関係機関(百五十四局)を防災無線で結び、有事に備えることにしています。

水害・地すべり等に注意

六月の北陸地方の天気予報では、つゆ入りが平年並みかやや早いみこみです。

この時期は、豪雨による水害、崖くずれ、地すべり等の災害が発生しやすくなります。十分ご注意ください。



自主企画のゲームで一日を楽しむ新成人たち

76 新成人祭で一日を楽しむ

二十歳の新しい門出を、我々の手で楽しい思い出を残そうと五月十六日、市民体育館で新成人祭が行われました。成人式はとかく形式的なものに受けとめられがちですが、式典は式典として、今年初めての試みでしたが、二十歳を二十歳の手で、を合言葉に、今年度成人式該当者の自主企画によるこの祭は、企画から運営まですべて新成人の手で進められました。この日は約五十人が参加、フォークダンスに、ゲーム、フォークソングと参加者は楽しい愉快な一日を過ごしました。企画委員会はそれぞれの地区からの代表十八名(男九名、女九名)で構成され、二月中旬から熱心に企画を練ってきました。同委員会では一応の目的が達せられたことを喜ぶと同時に、これからも心に残る催しとして続けていきたいと話してくれました。



正しい横断を

市内の小学校に入学した新一年生は、市内で847名。県及び日赤、十日町市から寄贈された交通安全帽子と、交通安全協会から寄贈されたランドセルカバーを身につけて元気に通学しています。写真は西小児童の正しい横断歩道のわたり方の練習風景。

徹底した取締りを実施

6月は交通事故防止強化月間

最近市内で重大交通事故が多発していますが、五月二十三日現在です。昨年より二倍という異常な発生状況となりました。このため、都市交通安全対策会議、都市交通安全協会連合会、十日町警察署では、五月二十一日都市緊急交通事故防止研究会を開き、六月の一カ月間を交通事故防止強化月間として強力な

運動を展開して行くことになりました。特に、飲酒運転者が増加していることから徹底した取締りと背後関係の追求。運転者の安全意识に対する再教育を実施して行くことにしています。

市民のみならず、この主旨をご理解いただき、交通事故防止にご協力ください。

成人者が記念植樹



去る五月九日の成人式終了後、市民会館前で成人者の記念植樹と題してヒマラヤンダー二本が振り袖すがたの成人者達の手で植えられました。なお、主催者の田村哲彦理事長は、「ヒマラヤンダー(ヒマラヤ杉)のように強くたくましく生きて欲しい」と成人者と呼びかけていました。

これは、青年会議所が主催して行つたもので、ははは「青春」と題してヒマラヤンダー二本が振り袖すがたの成人者達の手で植えられました。なお、主催者の田村哲彦理事長は、「ヒマラヤンダー(ヒマラヤ杉)のように強くたくましく生きて欲しい」と成人者と呼びかけていました。

交通事故発生状況(各年5月23日現在)

区分 地区	件数		死者		傷者	
	50年	51年	50年	51年	50年	51年
十日町市	34	46	2	2	38	54
川西町	4	7	0	1	6	6
津南町	6	8	0	0	7	11
中里村	6	3	0	0	6	3
合計	50	64	2	3	57	74

山内正豊氏らを表彰

新潟県体育協会(会長若健男)では、去る六月六日長岡市で行われた県民スポーツの日中央大会(第19回新潟国体を記念して行われた)で、県下のスポーツ振興に尽力された体育功労者と優秀競技者を表彰しましたが、十日町市ではつぎの二氏がそれぞれ表彰されました。

優秀競技者

品川達平氏(山本第二)

十日町高等学校校諭のかたわら、県スキー界の第一人者として活躍されました。また五十年年度国体スキー教員の部で優勝。このほか、四十四年インターハイインカレで好成績を納め、四十九年度国体青年の部で五位、リレーで二位に入賞するなど活躍されました。

体育功労者

山内正豊氏(本町二丁目)

昭和三十五年、十日町公民館長に就任、社会教育及び社会体育の推進に貢献されました。

身障者雇用に新しい光

身障者の雇用促進について各地で運動が進められていますが、このほど県下各地に先がけ、県心身障者雇用促進協会十日町支部が設立されました。

これは身障者の雇用対策について効果的な活動を進め、身障者に適当な職場を確保することを目的としています。

当日は、NHK青年の主張全国コンクール最優秀賞に輝く村山幸枝さんの生活体験発表なども行われ、市民に深い感銘を与えました。



